

No.	団体名	金額
提 案 の 概 要		
1	市民エコワーク	199,500
<p>《古本リサイクル市》 古本リサイクル市は、行政が場所を提供し、市民スタッフとなって運営する本の交換市です。だれでも本を持ち込み、持ち帰ることができます。どちらか片方でもOKです。この方法で、古い本をごみに出したり古紙回収に回さず、必要としている人に届ける機会を提供します。 古本市は、捨てるしかないと思われる古い本にも価値を見出し、大切に扱う文化を育てます。市場にまかせては機能しない分野のリサイクルも、市民と行政が協働して行うことで可能になり、ごみの減量が進められます。 図書館は会場となることで、本と市民を結びつけ、必要な本を必要な人に届ける、という図書館の役割をより広くPRできます。</p>		
2	NPO法人 スリーピース	249,900
<p>《困った時には、声をかけてね。静岡市子育て支援団体紹介カタログの制作》 静岡市にはH24.4月時点でも未だ150名以上の待機児童が存在し、また2020年には1995年時点の約7割まで子供が減少するという深刻な少子化問題もあります。 こうした中、民間ベースでも数多くの団体がそれぞれの得意分野を活かした子育て支援を実施、昨年には、子育て支援団体連絡会も発足し、30を超える団体が相互理解を深めつつ、より子育てのしやすい街づくりに取り組もうとしております。 一方、各々の団体の活動は多岐に渡り、実に有益なものでありますが、その活動が広く市民に周知されているとは言い難いのが実情です。 そこで、こうした団体の活動を一覧できるわかりやすいカタログを作成し、市内の子育て世代が利用される施設に設置することで、民間レベルでも、より子育てのしやすい街づくりに寄与していきたいと考えます。</p>		
3	特定非営利活動法人 ふじのくにハーモニー	250,000
<p>《うたおうよ、子守唄！！ たのしもうよ、ふれあい歌遊び！！》 人間関係の出発は、まず親子。無償の愛によって育まれる子育て。その最初の関わりは、何といても子守唄ではないでしょうか？時も場所も選ばず、何の手だてがなくても誰でも唄える子守唄について学び、唄うことによって、相手を思いやる優しい心、豊かな感性を培っていきたく願っています。 しかし、昨今における幼児虐待、孤独死、少年等の凶悪な犯罪を見ますと、広く社会との関わりの中で、人間関係を培う精神的基盤の喪失が大きな原因なのではないかと考えます。そこで、温もりのある人間性を、今こそ取り戻すことが必要なのではないかと、その活動の一環として、子守唄を多くの人に唄っていただき、心の潤いを思い起こさせていいただきたいと、子守唄指導員養成講座の実施、子育て支援センターへの出前講座を通し、親子のふれあいの大切さを具体的な方法を通して提案していきたいと思っております。</p>		
4	しぞ〜か防災かるた委員会	239,400
<p>《「いざに備えて、楽しく学ぶ『しぞ〜か防災かるた』で防災学習出前授業」と「しぞ〜か防災かるた競技会 in静岡市」の開催》 『家康が 駿府見守り400年 ぐらっと来たら あおいの法則』といった44首の句で構成される「しぞ〜か防災かるた」は、東日本大震災の尊い教訓と静岡の自然、歴史を同時に、分りやすく、楽しく、学べる防災学習・観光ツールです。 昨年度、300人近い市民の想いを繋ぐワークショップ等で44首を手作りで完成させました。今回は、完成したかるたを活用・普及するための企画です。 まず、市内小学校でかるたを使ったモデル事業を実施し、小中学校へ普及するきっかけとし、次に地域の防災訓練等での活用に拡げること考えています。 また、かるたの上の句は、観光案内ツールとしての利用が可能です。それらを踏まえて、教育や防災関連、そして観光案内ツールとしての利用が可能です。それらを踏まえて、教育や防災関連、そして観光部局と連携・協働して企画を実施することが重要だと考えます。 そして、かるた競技大会は、子供達のかるたに取り組むモチベーションを高め、かるた活用による学習の成果を確認するために有効と考え開催致します。</p>		

No.	団体名	金額
提 案 の 概 要		
5	NPO法人 place of peace	250,000
<p>《「パパもママも子どももみ～んなまるごと応援プログラム」 ママは・・・Nobody's Perfect（完璧な親なんていない）プログラム パパと子どもは・・・「きのいい羊達」と親子あそびで体力づくり》</p> <p>現在の子育て環境をめぐる問題として、核家族化、地域とのつながりを持たず、母親が孤立で不安な子育てをしている。父親も子育てに関心が薄かったり、関心があっても子どもとの接し方がわからないという声を聞く。</p> <p>従来の講座は母親だけが学ぶものが多かったが、この企画は母親が講座を受けている間、同じ施設内の別室で、父親が子どもと一緒に親子での遊び方を学びながら楽しむものである。このように2つの講座の同時進行は、初の試みである。どちらの講座も、その後の育児においておおいに役立ち、大きな助けになっていく。</p> <p>母親が受けるNPプログラムは、親の孤立感が軽減し、自信が増大し、子育てのスキルが強化されるという成果を生み出している。父親と子どもの親子あそびは「きのいい羊達」のスッパマン先生による講座で、運動能力と心の発達につながるあそびを学ぶ。あそび方を知ることによって子育ての楽しさを感じ、家族の心が豊かになる素晴らしい講座である。</p>		
6	日本防災士会静岡県支部	250,000
<p>《防災対策の中心はジュニアにまかせろ！》</p> <p>近年、南海トラフを震源とする東海・東南海・南海地震が同時に発生する巨大地震の可能性も指摘された。広域で甚大な災害が発生すると、我が国の社会システムが崩壊して、支援の手も届かず、自力復旧せざるを得なくなる。そこで、地域ごとに具体的に予想される被災状況を踏まえて、減災と復旧に『自助』力と『共助』を高めていく対策を実施すべきである。その視点から、地域住民の一員であって、これからの地域の主戦力となり得る児童・生徒及び高校生を中心とした市町単位での”防災教育と防災士養成講座”を広く実施し、減災と被災後の早期復旧を図っていく。具体的には、1) ジュニア防災士養成講座の実施、2) 安否QRコード等の普及化、3) 静岡市の各地域で事業計画の普及活動に臨む。</p>		
7	だっことおんぶの研究所	250,000
<p>《我が子は自分で守る！地震防災セミナー》</p> <p>東日本大震災ははじめ過去の巨大地震では、災害時要援護者である「乳幼児」をもつ家庭は様々な困難に直面した。東海地震をはじめ巨大地震の発生が切迫している静岡市において、乳幼児のいる家庭の防災対策は急務の課題である。乳幼児のいる家庭と地域が活動する人々に向けての防災セミナーならびにフォローアップセミナーを実施することにより、「自助」の観点での防災意識の向上、有事の際の地域避難所運営への情報活用、対策の実践を促す。また、弊NPOのような子育て支援団体と市の各機関が本企画を通して連携をはかることで、有事の際に有効なネットワーク構築の第一歩へつなげる。</p> <p>防災セミナー 定員50組×2回実施 フォローアップセミナー 定員20組×3回実施</p>		
8	静岡学習支援ネットワーク	250,000
<p>《無償学習支援教室事業》</p> <p>静岡学習支援ネットワークは「勉強したくても、できない子どもたち」の力になりたいとの思いをもった大学生が集まり、2012年2月に誕生した団体です。経済的な理由から学習塾に通えない子どもや、いじめや家庭環境などが原因で十分に学習する機会に恵まれない子どもを対象に、無償で学習支援教室を運営していきます。私たちの運営する教室は、塾でも学校でもありません。中学生一人一人と寄り添い、共に学ぶことができる場であり、また一人一人が安心して通うことのできる居場所でもあります。私たちは、このような温かい雰囲気のある教室を目指すとともに、それぞれの生徒のペースにあった学習習慣の体得や、志望する進路への進級を目指します。</p>		

No.	団体名	金額
提 案 の 概 要		
9	バディプロジェクト	250,000
<p>《経産婦向け一時保育付きマタニティ講座「ウチに赤ちゃんがやってくる」》 現在、行政、民間を含め、妊産婦向けの講座は初産婦対象のものばかりである。 しかし、経産婦の「育児をしながら妊娠、出産をする」という状況は、初産とは異なる、さまざまな課題に直面せざるを得ない。にもかかわらず、妊娠、出産をすでに経験しているから、ということで、経産婦についての支援の重要性は顧みられていない。 そこで、実際に2人目、3人目を子育て真っ最中の母親の目から、経産婦が抱える不安や悩みをすくいあげ、明るい気持ちで新しい命を迎えられるようなマタニティ講座を企画した。 講座では、妊娠中の経産婦が先輩ママの様々な経験談を聞くことで、これから起こるさまざまな事態を予測し、子育てに対する考え方の多様性に気づくワークショップを行う。 「もう一人生む」ことへの支援は、少子化対策、虐待予防への効果も期待できる。</p>		
10	いきもの企画	192,500
<p>《動物園メモでもっと動物観察「もっとメモ」作成事業》 普段動物園で見逃しがちな動物について、もっと詳しく、いろいろ知れる「もっとメモ」を、日本平動物園と一緒に作ります！ 動物園という限られた環境にあっても、小さなかったり地味だったりするいきものを気付かずに素通りしてしまう人や、動物園が提供している情報と間違った認識をしたまま帰ってしまう人などをよく見かけます。 脇役にもなれないいきものがあることは、とてももったいないことだと考えます。 特に屋内展示は、天候を気にせず、より近い距離でいきものを観察できる便利な施設です。 それでも、同じ展示場に複数のいきものが飼育されていたりすると、パネル等だけでは動物園が提供したい情報の半分も伝えられないのではないのでしょうか。 そこで、わたしたちはその施設で手にとり読みながら観察してもらおう「もっと〇〇（施設名）メモ」（もっとメモ）を日本平動物園と一緒に制作することを企画しました。</p>		
11	ファシリテーターズ静岡	247,275
<p>《10年後のわたしは何をしている？～中学生向け男女共同参画をベースにしたキャリア教育学習の提案～》 1. 生徒が、社会の一員として役割を果たし、性別に関係なくそれぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら、今後のキャリアを考えることができるようファシリテーションをベースにした生徒参加型の授業を提供する。 2. 文部科学省の「学校が社会と協働して一日も早くすべての児童生徒に充実したキャリア教育を行うために」では、学校外部の教育資源を有効活用していくことが期待されており、社会人が生徒に働くことの喜びや世の中の実態や厳しさをリアルな言葉で伝え、社会の「本物」に触れさせる機会を提供する。 3. 静岡県立大学国際関係学部犬塚協太ゼミ学生との連携により、中学生にとって大人よりも身近な存在である大学生にも授業に参加頂き、若者の意見・視点をより多く取り入れた授業を提供する。 以上、浜松市・磐田市・富士市等での授業実施実績を踏まえ、静岡市での「男女共同参画をベースにしたキャリア教育学習」の実施を提案します。</p>		